

# 地震一口メモ No. 161

## 2018年6月18日 大阪府北部の地震について⑤

6月18日に大阪府北部で発生した最大震度6弱の地震の周辺の地震活動について、10月31日現在の状況を解説します。

下表のとおり、10月31日までに大阪府北部の地震とその周辺（図1の領域a内）で震度1以上を観測した地震の回数は64回でした。

表 最大震度別地震回数表 2018年6月18日～10月31日

期間	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7	合計
6月18日～6月30日	25	11	4	1	0	0	1	0	0	42
7月1日～7月31日	9	3	1	0	0	0	0	0	0	13
8月1日～8月31日	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
9月1日～9月30日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10月1日～10月31日	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
合計	41	15	6	1	0	0	1	0	0	64

図2をみると、地震活動は減衰傾向にあります。この地震が発生する前（⇔の期間）と比較すると活発な状況が続いていることがわかります。

今後も現状程度の地震活動は当分続くと考えられます。また、今回発生した地震の周辺には、有馬-高槻断層帯、上町断層帯、生駒断層帯など複数の活断層帯があることにも留意が必要です。

日本国内では、いっどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありません。引き続き、日頃からの地震への備えを心がけてください。

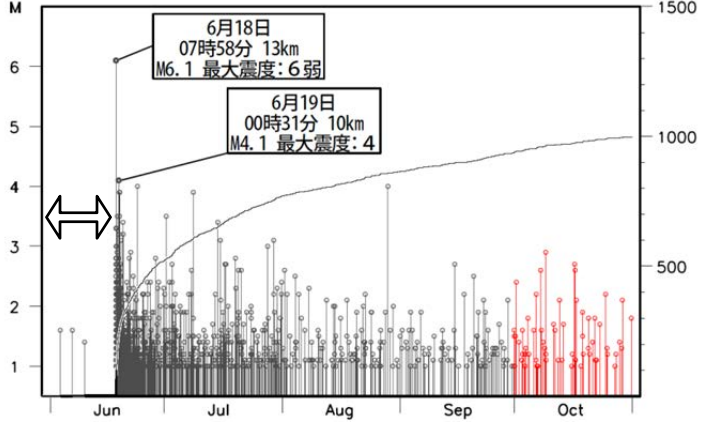
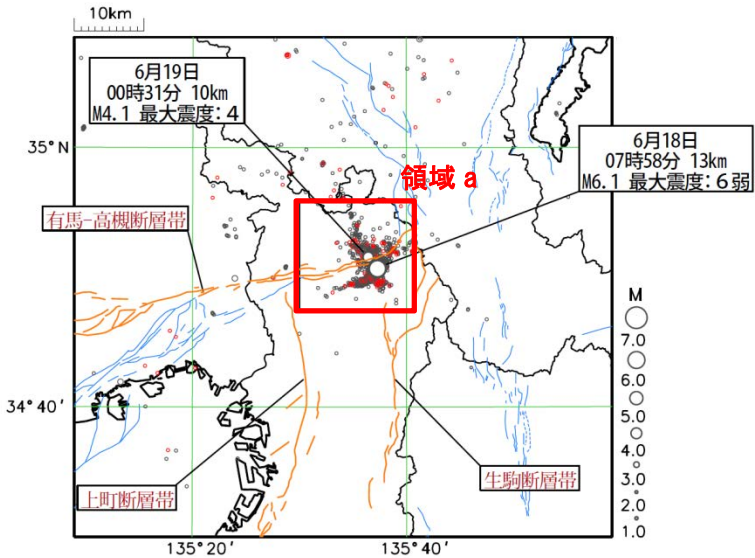


図1 震央分布図  
2018年6月1日～10月31日  
深さ0～20km、マグニチュード（M）1.0以上  
2018年10月1日以降を赤○で表示  
※橙色、水色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

図2 図1の領域a内の地震活動経過及び回数積算図